

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	建物火災において屋内進入時、燃え抜けた天井から瓦が落下し肩にあたり負傷した事例。
3. 体験した事例の中心的要素	建物火災において、鎮火状態となり残火処理のため2階屋内進入し放水していたところ、突然2階天井から瓦が落ちてきて、避けきれず左肩にあたり負傷したもの。(2階の屋根は一部燃え抜けており、放水により瓦を落下させてから進入したもの。)
4. 体験した事例の原因・理由	情報収集、連携(他隊、消防団)不足。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 19 年 3 月 12 日 午後 3 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋内：木造住宅2階
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう。
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	飛来・落下ぶつにぶつかる、
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動終了時、 [木造建物]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	残火整理、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	建物火災へ出動。	
経過2	当事者A	現場到着。水利部署し、放水開始。	
経過3	当事者A	鎮火状態となり、残火処理のため屋内進入し放水開始。	
経過4	当事者A	天井から瓦が落ちてきて左肩にあたり負傷。	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

足元の安全が確保できていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

- 心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

- 注意力欠如、焦り等の対策について

なし

- 装備・資機材の対策について

なし

- 活動環境の対策について

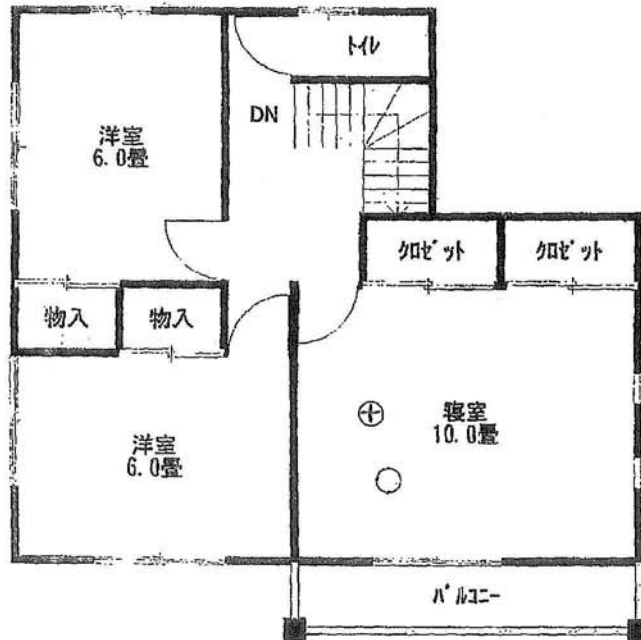
周囲の危険要素を排除した後の活動に徹する。

- 指揮・情報伝達の対策について

なし

現場見取図

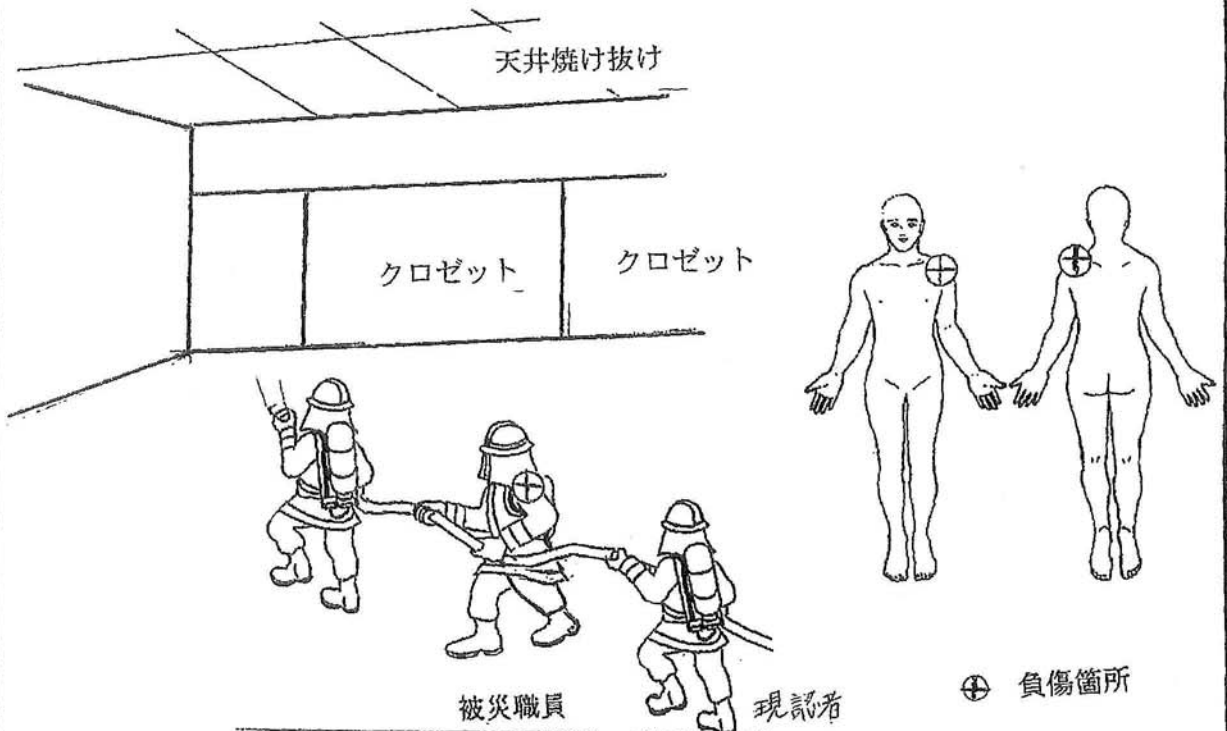
現場見取図



- 現認者
- ⊕ 被災職員

2階 縮尺 1/100

現場詳細見取図 屋根裏



(注) この用紙に書けない場合は別紙又は写真を利用すること。